



2月14日 森の中の滝「七条大滝」
ツララが少なめです



館内で飼育しているエゾアカガエルは
元気に活動！春を感じたか？



2月14日：気温が上がって紋別岳・山腹に
霧が発生

支笏湖ビジターセンター便り



2020年（令和2年）2月号 Vol.1 2 2

骨組みがむき出しになってしまったところもありますが、氷像の高さ最大13メートルは変わらず、支笏湖の湖水が氷となって放つ色「支笏湖ブルー」の輝きも変わりませんでした！

支笏湖ブルーは健在



2月14日



一部氷像の見学ができなくなりました



暖気で困った！氷濤まつり…

毎年1月下旬から2月中旬まで行われる「千歳・支笏湖氷濤まつり」。支笏湖の湖水を骨組みに吹き付けて、大小30基ほどの氷像を作って披露するお祭りなのですが、今回は2月中旬の暖気で氷の一部が溶けてしまいました。内部に入れる氷像は来場者への危険を回避するため閉鎖せざるを得ない状況になりました。

下に掲載したものは氷像内の写真です。多くの人を喜ばせようと、製作スタッフが寝る間を惜しんで造り上げたもの。2月としては観測以来最高の9.4℃を記録したため溶けてしまい、見られなかった方は残念だったでしょう。来年また素晴らしい作品を見せてくれるはず。これからも氷濤まつりに注目してください！

氷濤まつり制作部・渾身の作品、内部の氷のオブジェを
見られなかった方のために（写真はまつりスタッフより提供）



氷の水族館



氷のシャンデリア



氷“藤”（ひょうとう）



苔の洞門

昔、苫小牧から支笏湖までは汽車が走っていました。その汽車は「山線（やません）」と呼ばれ親しまれていました。「山線湖畔驛」は支笏湖の発展の礎になった山線の歴史をジオラマと映像で紹介する施設です。

王子軽便鉄道ミュージアム えき
山線湖畔驛

オープンして約一ヶ月が過ぎました。山線が走っていた頃の支笏湖畔の様子を再現したジオラマの精巧さに注目が集まっているようです。見れば引き込まれ、山線についての興味がさらに湧くことでしょう。

冬季は16:00閉館です。じっくり見学したい方は
お早目の来館をお願いいたします。

（冬季は火曜日休館 4月からは17:00閉館）



支笏湖温泉の気象

支笏湖温泉の
気象・降水量・日照時間
～気象庁アメダスによる平年値
と今年の観測～

気温(°C)

	平年値	今年
1月上旬	-4.2	-4.4
中旬	-5	-3.9
下旬	-5.5	-3
2月上旬	-5.3	-7.1

日照時間(h)

	平年値	今年
1月上旬	27	40.9
中旬	27.8	44
下旬	32.3	40.6
2月上旬	34.5	37

降水量(mm)

	平年値	今年
1月上旬	36	4.5
中旬	28.1	7
下旬	36.4	10
2月上旬	19.7	5.5

1月は上旬を除いて気温が高めに推移し、月平均気温-3.7度は、同月としては観測開始以来7番目に高くなりました。日照時間も多く月合計125.5時間は同月としては多い方から2番目になりました。

2月に入ると、上旬は強い寒気の来襲で-10度以下の日が6日間もあり、上旬の平均気温も-7.1度と平年値より1.8度も低くなりました。また9日の日最低気温-15.0度は同月としては低い方から10番目でした。

ところが、4月中旬並みの暖気に覆われた2月13日の日最高気温9.4度は、同月としては観測開始以来最も高い気温となりました。

自然ふれあい行事

参加費・無料
スノーシュー貸出・無料

のご案内

2月15日現在、ビジターセンター
周辺の積雪深は11cmです。
もっと雪が欲しいところです。

降雪に期待!

積雪が少ない場合は
中止になります



スノーシューウォーク スノーシューで雪上散策
2月22日(土) 10:00~12:00 定員10名

スノーシューハイク 紋別岳の山腹を中腹まで登ります
3月7日(土) 15日(日) 10:00~14:00 定員8名

※2月24日と3月8日の森と谷の探検ツアーは雪不足のため中止になりました

支笏湖ビジターセンター運営協議会発行

〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉番外地

Tel 0123-25-2404

HP アドレス <https://shikotsukovc.sakura.ne.jp>

【開館時間】

4月~11月 午前9時~午後5時30分

12月~3月 午前9時30分~午後4時30分

火曜日休館(祝日の場合翌日)

年末年始休館日 12月29日~1月3日

アクティブレンジャー日記



オリジナルのオブジェ☆



七条大滝について解説中♪

支笏洞爺国立公園管理事務所

アクティブ・レンジャー(自然保護官補佐)

當山 真貴子

先日、例年に比べ、雪が少ない支笏湖で「冬の七条大滝自然観察会」を開催しました!今回は、スノーシューは履かず、七条大滝を目指しながら、エゾリスやエゾユキウサギ等の足跡、野鳥では飛翔中のクマゲラやシマエナガを発見することが出来ました。また、マリモのような不思議な木を発見し、みなさん驚かされていました。七条大滝の滝壺へ続く階段が凍結し、滑りやすくなっていたため上から眺めることになりましたが、子供達はノリウツギ等を使い、オリジナルのオブジェを作ったり、大人の皆さんはパークボランティアの解説に耳を傾け、冬にしか見られない景色を満喫していました(^)

～展示物の紹介～

ビジターへ おいでよ!



館内の「森の世界」ブースでは、支笏湖でよく見られる12種類の樹木を展示しています。

外側の樹皮と、内側の木材が両方観察できるように切り取られ、それぞれに木の名前や特徴のほか、木材としての用途も紹介されています。

例えばアオダモは野球のバット、イタヤカエデはギターなどの楽器に使われることがあります。

「木はどれも同じに見えて覚えられない!」という方もこれを見たら少し樹木に親しみが湧くかもしれません。

温泉街の広場にはさまざまな種類の木があり、大きく立派なものもたくさんあります。木に注目して散策してみるのも楽しいですよ。

～多目的展示室から～

支笏湖日記展

3月2日(月)まで



ビジターセンタースタッフが交代で千歳民報・苫小牧民報に執筆している「支笏湖日記」を一年分展示しています。支笏湖の自然の移ろいを知ることができます。ごゆっくりご覧ください。